



当たりつき バスケットゴール



BACKGROUND

プロバスケットチーム「シーホース三河」は、改修工事で使用できなくなったアリーナの代わりに刈谷市の市民体育館を借りてホームゲームを行うことに。試合が開催されると道路渋滞や騒音問題など周辺住民に迷惑をかけてしまう懸念があり、地域に根ざすスポーツチームとして住民との良好な関係を構築する必要があった。

IDEA

住民との交流を深めるため、「当たりくじ付きのバスケットゴール」を開発してイベントを行った。フリースローを投げ、見事ゴールをするとセンサーが反応。くじびきが始まり、当選するとファンファーレが鳴り響き景品がもらえる。神社、公園、ショッピングセンターの駐車場など様々な場所を回り、住民を楽しませながらホームゲーム開催への理解促進を行った。

RESULT

ゲリラ開催に関わらず、通りがかった多くの住民が参加。地元住民と交流を深め、街全体を盛り上げる地域に根差したバスケットチームとしてファンを増やすことに成功した。

